

きれい 甲斐

No.35 JULY 2006

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ✉ junkan@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

平成18年度 定期総会を開催



平成18年度定期総会を、6月5日（月）、甲府市総合市民会館で開催しました。

開会にあたり、宮川会長からあいさつがあり、来賓を代表して山梨県の今村森林環境部長からご祝辞をいただきました。また、一日森林環境部長の小泉礼加（ひろか）さん（株

岡島 子供用品部勤務）も来賓としてご出席いただきました。

議事では、平成17年度事業報告・収支決算報告、平成18年度事業計画・収支予算及び役員・企画委員について原案どおり承認されました。

役員・企画委員

| | | | | |
|-------|--------------------------|--|-------------------------|---|
| 会 長 | 宮川 睦武 | 山梨県中小企業団体中央会 | | |
| 副会長 | 高野孫左衛門 山田 一功 小林 二郎 | 山梨県ボランティア協会 山梨県PTA協議会 山梨県農業協同組合中央会 | 野口 英一 渡辺 一彦 渡辺 恭史 | 財富士山をきれいにする会 日本労働組合総連合会山梨県連合会 山梨県商工会議所連合会 |
| 監 事 | 石井 由己雄 | 山梨県建設業協会 | 辻 一幸 | 山梨県林業団体協議会 |
| 企画委員長 | 幡野 芳久 | 山梨県商工会連合会 | | |

企画委員（○は各専門部会代表）

（広報専門部会）

| | | | |
|--------|---------------|-------|--------------|
| 幡野 芳久 | 山梨県商工会連合会 | 中村 司 | 山梨県自然保護教育振興会 |
| 丸山 国一 | 山梨県高等学校PTA連合会 | 岩間 光弘 | 山梨県私立幼稚園協会 |
| ○神宮寺 聡 | 山梨県労働者福祉協会 | | |

（実践活動部会）

| | | | |
|-------|------------------|-------|-----------------|
| 伊藤 祐寛 | 山梨県専修学校各種学校協会 | ○高橋 勇 | パッケネットやまなし |
| 黒田 光秀 | 学識経験者 | 仲澤 早苗 | 山梨県消費生活研究会連絡協議会 |
| 小林 幸子 | 山梨県生活研究グループ連絡協議会 | | |

（ネットワークづくり専門部会）

| | | | |
|--------|---------------|-------|---------------|
| ○依田 茂己 | 山梨県青少年団体連絡協議会 | 飯窪さかえ | 山梨県女性団体協議会 |
| 望月 董平 | 山梨県老人クラブ連合会 | 三神 雅彦 | 環境に関する企業連絡協議会 |
| 岡 尚志 | 学識経験者 | | |

平成18年度 事業計画

1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

(1) 広報誌の発行

会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とする。

(2) 会員の募集

会員の拡大(募集)を図るため、効果的な広報活動を行う。

(3) ネットワークづくりのための調査・研究

県内市町村の環境に係る団体を調査し、ネットワーク化に向けての研究を行う。

(4) 第20回全国牛乳パックの再利用を考える全国大会への支援

今回の第20回目の大会は、発祥の地、山梨において開催される。この記念すべき大会を当会において広報活動を中心に支援していく。

2. 実践活動推進のための事業

(1) 地球温暖化防止のための県民参加型事業の実施

○サマーエコチャレンジ(個人・事業所) ○エコスタイルキャンペーン(事業所)

詳細については、右ページをご覧ください。

○地球温暖化防止活動推進センターとの協働

(2) 環境に関するイベント等の実施

「県民の日」や他のイベントなどに参加し、「環境パートナーシップやまなし」のブースを設置し、クイズラリー及び各団体が取り組んでいる活動を紹介する。

(3) 県事業との協働

「やまなしグリーンキャンペーン」、「人と環境にやさしい交通」県民運動、「ボランティア月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っていく。

3. ごみの減量化に向けた実践的な取り組み

(1) ごみ減量化プロジェクトチーム検討会の開催

平成17年度において試行的に実施したマイバスケ推進事業及びリユースカップ事業の実施結果を基に、検討会を引き続き開催するとともに、具体的な取り組みを実施し、一層の普及拡大を図っていく。

(2) 「県民の日」記念行事におけるごみ減量化運動

毎年11月に開催される「県民の日」記念行事には、2日間で約10万人の来場者があり、多量のごみが排出されている。

こうしたことから、昨年度実施したごみの持ち帰り運動を引き続き実施するとともに、出展者に対し使い捨て容器からリユース容器の転換を要請し、「県民の日」記念行事をごみの出ないエコイベントとなるよう活動展開していく。

「環境の日」の行事を実施しました 県森林環境部

平成18年6月5日(月)の「環境の日」には、(株)岡島 子供用品部の小泉礼加(ひろか)さんを一日森林環境部長に委嘱し、各種行事を行いました。

☆ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン

JR甲府駅前において、ごみ減量とリサイクルを呼びかけるリーフレットや花の種、また、食器容器環境美化協会様からご提供いただいたポケットティッシュ、ボールペンなどの啓発物品を配布しました。県内各市町村・県林務環境事務所においても5日又はそれに近い適当な日に実施しました。

☆環境フォーラムinやまなし

甲府市総合市民会館において環境フォーラムを開催し、記念講演に、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんをお招きしました。「みんな地球に生きるひと」という演題で、温暖化と森林破壊で砂漠化したエチオピアを訪れた体験などを語られました。



キャンペーン協力団体

JA山梨女性部協議会
食品容器環境美化協会山梨地方連絡会議
山梨県産業廃棄物協会
山梨県消費生活研究会連絡協議会
山梨県生活学校連絡会
山梨県生活研究グループ連絡協議会
(敬称省略、50音順)

参加者募集

爽快

夏の「創・甲斐」エコスタイルキャンペーン

昨年2月に発効された京都議定書に基づく地球温暖化防止のための温室効果ガス削減に向けては、県民・事業者の「ライフスタイル、事業活動の変革」による省エネルギーの取り組みが重要であり、国においても「COOL BIZ (クールビズ)」の名称で軽装、適正冷房を呼びかけています。

環境パートナーシップやまなしにおいても、3年目の取り組みとして、夏季の様々なビジネスシーンにおいて、お客様や取引先など事業活動に関わる関係者の理解と協力を促し、蒸し暑い真夏でも「軽装では相手に失礼」といった考え方を、「夏の軽装は省エネにつながり環境にやさしい。軽装こそ良識」というものに変え、環境と共生する新しいビジネス文化、県民性を本県に根付かせることを目的として、軽装及び適正冷房を広く呼びかけるため本キャンペーンを実施しています。

実施期間

平成18年7月1日(土)～9月30日(土)

実施対象

県内に事業所、営業所を有する事業者、団体、市町村など

取組項目

①適正冷房の実施

- ・事務所、会議室における適正冷房(28℃設定)
- ・電車、バスなど公共的な場所における過冷房の抑制

②軽装の奨励

職場における服装として信用と品位を損なわず、暑苦しさを不快感を感じさせない清潔感のある軽装(ノーネクタイ等)を奨励する。



サマーエコチャレンジ 2006

地球温暖化防止のため、私たちの日常生活の中でどんなことができるかを考えるきっかけとして、夏の電力使用量の削減に取り組む「サマーエコチャレンジ2006」を実施します。

1. 参加部門

個人部門：各世帯単位での参加

事業所部門：団体、事業所、営業所単位での参加

2. チャレンジ内容

各参加者(世帯・事業所等)が8月を含む約1ヶ月間、前年の同時期に比べ電力使用量を何パーセント節減するか目標を定め、節電に取り組みます。

3. 表彰

目標達成者には、達成証、記念品を贈呈します。(事業所部門は達成証のみですが、名称を当ホームページ、会報誌等で公表させていただきます。)

4. 期間

- ◇募集期間……平成18年7月1日(土)から7月31日(月)
- ◇実施期間……8月を含む1検針期間
- ◇報告締切……平成18年10月13日(金)
- ◇表彰者発表……平成18年11月30日頃を予定

詳細を、HPに掲載しています。皆様のご参加をお待ちしております。



第20回牛乳パックの再利用を考える全国大会

「はじめの一歩はもったいない 発祥の地からつなぐじゃん！」



—私たちの願い—

牛乳パックの再利用運動は、1984年に山梨県大月市で地域グループの子育て、生き方を考える教育活動の一環として始まりました。それは、物を大切に「もったいない」という心を子どもたちに伝えていくという日常生活からの取り組みでした。そして、大量生産、大量消費の時代に生きる私たちは、使い捨て社会に対する警鐘として、牛乳パックをレンズに今日の社会を問い直し、「自然・いのち・くらし」を大切にいくための全国的な運動を展開してきました。このようなより人間性あふれる想いをもった人々がともに生きるネットワークづくりこそ、緑の地球を子どもたちに残すための教育力となるはず。私たちはそれを確信しています。20回目を迎えた全国大会は、一人ひとりの想いを足下からより深く地域に根付かせてつなぎあい、小さくとも確かな発信をしていきたいと思ひます。

| 1日目 7月29日(土) | 2日目 7月30日(日) |
|--|--|
| 12:00 開場 12:30 オープニングアトラクション「大月紅富士太鼓」 13:00 開会セレモニー 13:30 記念講演『100人村からつなぐ自然・いのち・くらし』 講師：池田香代子さん(作家・翻訳家) 15:00 記念シンポジウム 『Reduce(無駄をなくして) Reuse(何度も使って) Recycle(生まれ変わって) Let's循環型社会(もったいない)』 【コーディネーター】 郡蔭 孝さん(同志社大学経済学部教授) 【パネラー】 ●環境省 廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 ●リデュースの取り組み パルシステム生活協同組合連合会 ●リユースの取り組み キリンビール株式会社 ●リサイクルの取り組み 日本製紙連合会 17:00 終了 18:00 交流会 会場：ウェルシティ甲府 ※プログラムは変更される場合があります。 | 9:00 第1分科会「もったいないじゃん ぐるぐるまわして使うじゃん」 地域の様々な資源を活かした循環型社会づくりについて事例を紹介し、皆で考えます。 第2分科会「牛乳パックの原点は生き方と子育て」 今、私たちが子どもたちに伝えたい事・伝えなければならぬ事。豊かな時代の中で本当の幸せとは？ 第3分科会「ちよっくら寄って食ってけし！ —話して・食べて・考える—」 県内のユニークな農業実践者と語り、農の役割を考えながら、山梨の美味しいところを食べちゃおう！ 第4分科会「コラボレーションでお仕事しようず」 福祉作業所から協働で仕事づくり。県内外の事例をもとに、地域・行政・企業との連携を考えましょう。 第5分科会「牛乳パック全国情報交流会」 発掘！まだまだあるある「こんな商品、こんな活動」第3ステージを迎えた牛乳パックリサイクルの今後とは？ 12:00 昼食 13:00 総括集会 分科会報告 まとめ 14:00 閉会セレモニー 14:30 閉会 |

エコ・キッズステージ「もったいない」のタネを見つけよう！環を広げよう！

・みんなのエコ発信基地 29日 12:00~17:00

牛乳パックができるまでと回収・再利用までのことがわかる展示やクイズ、紙すき体験や簡単工作などの体験コーナーがあります。

・子どもサミット 30日 9:00~12:00

環境教育に取り組んでいる学校の発表や意見交換などで、子どもたちが身近なところから「緑の地球」とともに生きていくことを考えます。

もったいない展示コーナー 県内諸団体や企業のいろいろな「循環型(もったいない)」取り組みを紹介

オプションツアー

- Aコース(日帰り) 県立科学館見学等
- Bコース(1泊2日) リサイクル施設見学等



参加費用

- 参加資料代.....1,000円
 - 交流会参加費.....5,000円
 - 昼食弁当代(お茶付)(2日目)....800円
- (注) オプションツアーは別途かかります



講師

池田香代子さんプロフィール

ベストセラーとなった『世界がもし100人の村だったら』の再話を手がけた作家。その印税で「100人村基金」を設立し、「基金を必要としている世界中の人たち」に支援活動を行う。また、アフガン難民キャンプ内の女子校も支援。

専門はドイツ文学翻訳・口承文芸研究。世界平和アピール七人委員会メンバー。

作家・翻訳家

会場 甲府市総合市民会館
 甲府市青沼3-5-44
 TEL: 055-231-1951

問い合わせ先

第20回牛乳パックの再利用を考える
 全国大会実行委員会事務局
 TEL: 055-243-6433 FAX: 055-243-6359
 E-mail: pack-20th@hss-web.jp
 HP: http://pack-20th.hss-web.jp/

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、500~600字の原稿と写真1枚です。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。